



ビジネスプランの仲間たち

今回のテーマは・・・【私、〇〇アイス派です】

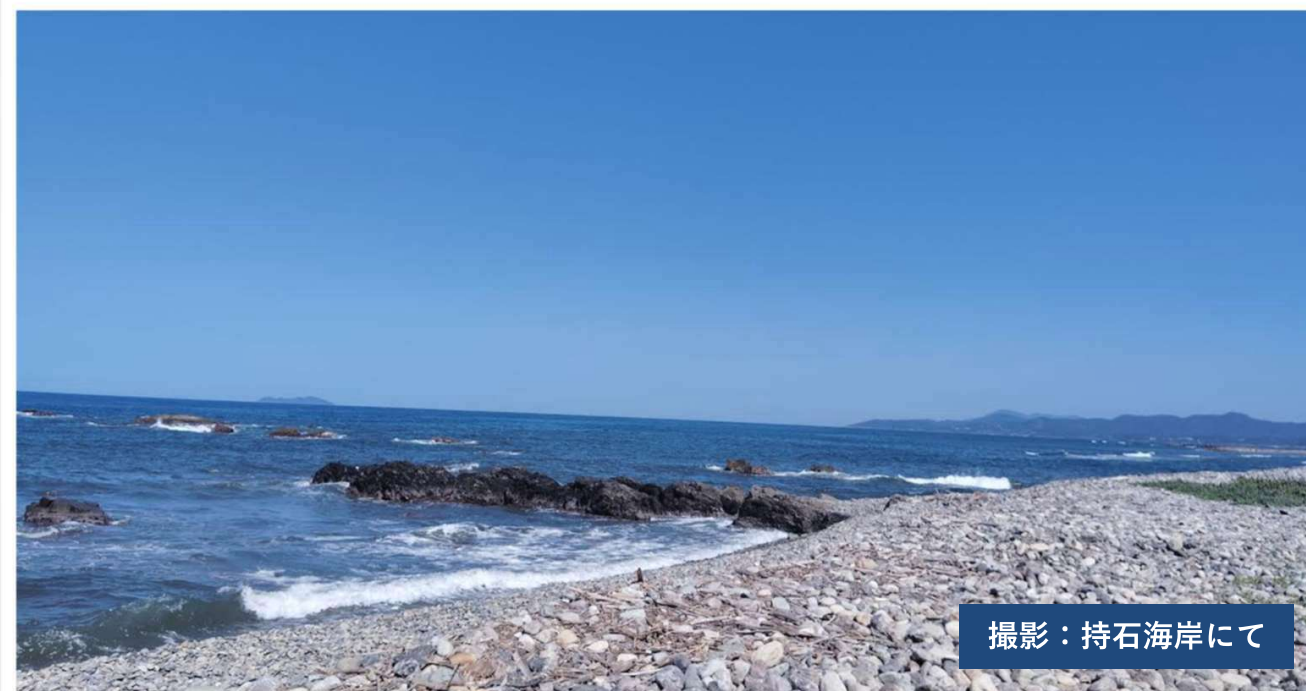


かけはし

Vol.69

夏号

2026年7月



撮影：持石海岸にて



7～9月の税務・イベント

- ・源泉所得税の特例納付・・・7/10(金)まで
- ・社会保険の算定基礎届・・・7/10(金)まで
- ・労働保険の申告・納付・・・7/10(金)まで
- ・所得税の予定納税額納付・・・7/31(金)まで
- ・ビジネスプランプレミアム講演会・・・9/14(月)

お休みカレンダー

2026年 7月							2026年 8月							2026年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1				1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23/30	24/31	25	26	27	28	29	27	28	29	30			



ビジネスプラン / あんの会計

〒698-0041 島根県益田市高津一丁目1番1号
TEL(0856)23-6116 FAX(0856)23-6674
E-mail bplan@sx.miracle.ne.jp

わたしたちは、たくさんの“ありがとう”を集め、日本の中小企業を元気にします！

※ 過去のニュースレター「かけはし」は、弊社ホームページからご覧頂けます。



代表取締役
安野 広明



こんにちは、ビジネスプランの安野広明です。
今年の夏は、太平洋高気圧とチベット高気圧が重なる「ダブル高気圧」の影響により、全国的に平年よりかなり高い気温が予測されています。最高気温が40℃を超える「酷暑日」への警戒も必要です。皆様におかれましては、どうぞご自愛下さいませ。
また9月には、昨年同様、「ビジネスプラン・プレミアム講演会」をグラントワにて開催いたします。今回は「人は話し方が9割 ～経営者・リーダーへのメッセージ～」というテーマで、人財育成JAPANの永松茂久（ながまつしげひさ）先生に講師をおつとめいただきます。永松先生は、令和で一番売れているビジネス書『人は話し方が9割』の著者ですので、もしかすると同著を読まれた方、本屋で見かけたことのある方もいらっしゃるかもしれません。詳しくは、同封のチラシをご参照いただければと思います。なおチケットには限りがございますので、ご興味のある方はお早めにお申し込み下さいませ。
それでは夏号も、どうぞよろしくお願い致します。

運が良くなるための「運の公式」とは？

いいことがあると「運が良いな～」と喜び、悪いことが起これば「運が悪かった・・・」と嘆く。このように私たちは、日常生活の中で何気なく「運」という言葉を用います。ただし誰にでも関係することでありながら、運の扱い方についてはほとんど知りません。その正体がいまいなまま、振り回されているのが実態です。おそらく「運は自分ではどうにもできないもの」というのが、多くの人の認識ではないでしょうか。昔は私もそうでした。

ところが会社経営をしている中で、「これはよくない（運の）流れだな」「こういう時は運がいい」などと感じた経験が何度かあって、今では、運には「何らかの一定の法則が存在するのではないか？」と思っています。

そして最近、ある方からすすめられた本を読み、それが確信に変わりました。その本によれば、雨を止めることはできなくても傘を持つことはできるのと同じように、運は、完全にはコントロールできないけれども、自らの意志によって主体的に行動すれば運ばれて来るものなのだとか。確かに「運」は「運ぶ」と読めますよね。

その上で、運ばれてくるという現象に深く関わっているのが「気」の存在です。日本語には、元気、勇氣、根気、活気など「気」を用いた言葉が数多くありますが、気が流れていると、あたかも水路の水が流れるかのごとく、幸運を運んでくれます。一方で、気が枯渇していたり滞っていたりすると、その流れが止まってしまうのだとか。

つまり運というのは単なる偶然ではなく、自分自身の気の状態が生み出した結果なのです。したがって、常日頃、小さな徳を積んだり、心を整えている人は、気が流れている状態となり、チャンスが運ばれて来た時に確実に掴み取ることができます。そのように考えると運が良い人とは、運ばれてくる幸運を受け取る準備をしている人と言えるでしょう。

以上より、（同著によれば、）「運 = 気の流れ × 行動力」が運の公式になります。上述した通り、前提として気を整えることが重要ですが、いくら素晴らしい気の流れがあっても幸運が運ばれて来たとしても、それを掴んで現実の形にするための行動が伴わなければ、運は定着しません。一方で、どれほどがむしゃらに行動しても、自らの気が淀んでいた、枯渇していると、思うような結果は得られず、自分をすり減らすだけになりがちです。

したがってどちらか一方がゼロであれば運もゼロになるため、「掛け算」になっています。逆に言えば、気の流れを整え、幸運を受け入れる準備をし、そこに行動力を掛け合わせることで、人生の歯車は力強く回り始めるでしょう。私自身、この公式で考えると思い当たることがありますし、とても分かりやすく運に対する解像度が上がったため、ご紹介させていただきました。



研修旅行レポート in東京・静岡

生成AIの活用とペーパーストックレスに積極的に取り組まれておられる会計事務所を見学すべく、東京と静岡へ行ってまいりました。



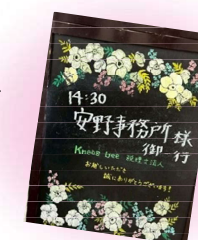
1日目 東京研修



【東京視察での気づき】

東京のKnees bee税理士法人様では、生成AIを積極的に活用した「次世代の業務効率化」を拝見しました。特に印象的だったのは「AIにお任せしてスピードアップする部分」は誰にでもできる仕組みにされており、「人が目で見て丁寧に確認する部分」とのすみ分けをしっかりとされていたことです。また、AIエージェントを活用した効率化には、驚くばかりでした。

素敵なウェルカムボードで
お出迎えいただきました！
ありがとうございます^^



2日目 静岡研修



【静岡視察での気づき】

静岡のセブンセンス様では、紙をほとんど使わない「ペーパーストックレス」な働き方を学ぶことができました。驚いたのは、ほぼすべての資料がデジタルで管理され、社員の皆さんがいつでもスムーズに情報を共有し合える環境。作業効率がぐんとアップするだけでなく、なんと**オフィスの机には引き出しが一つもない**んです！徹底された仕組みの中に、心地よく働くための素敵な工夫がたくさん詰まっていました。

この学びを、私たちのこれからのお客様サポートへしっかりと活かしていきます！

スタッフのおすすめ本紹介



『ゲーム理論入門』

著者：天谷 研一 氏

一見このゲーム理論は難しいように感じますが、意外と日常でも活用することができます。例えば、家のごみ捨てです。家庭のごみを捨てなければ、少しの時間を自身で使うことができます。ですが、それを続ければ、家庭環境が悪化する。では、この時の最適解はなんだったのでしょうか。こういった、お互いの行動を考えながら、合理的な解答を見つけるのがこのゲーム理論です。人間は、1日に35,000回は意思決定を行っていると言いますが、少しでも日常を良くしようと思い、この書籍を読んでおります。

今回は私が紹介します！



室田 直樹



相手の心に寄り添う上で、経験こそが価値になる

最近、人々の相談相手の上位に生成AIがランク入りするほど、悩んだらAIに聞く人が増えているようです。中にはAIに名前を付けて、まるで友達のように扱う人も。そうなる理由は、こちらを傷つけないAIの言葉遣いや、的確で気の利いた回答にあるのでしょう。確かに本物の友人だとしたら、パーフェクトですね。かくいう私自身、たまにAIに相談して共感されると、「分かってるね～」と思ったりします。

ただその共感が、どこか虚しく感じるのも事実です。なぜならAIは、入力されたプロンプトに対して最適解を予測変換しているだけであって、AI自身が身体的な経験や感情を持っていないから。回答があまりに的確なので錯覚してしまいがちですが、その実態は自分は何も経験したことがないのに、人間の感情を模倣して「それは辛いですね」などと共感の言葉を並べているだけです。

一方で人間の場合、自らも経験していることであれば、相手の感情を深いところで理解することができます。例えば病氣、挫折、仕事での失敗、事業の成功などの経験があるとすれば、その時々で悩み苦しんだり、悔しい思いをしたり、喜んだりといった感情が自分自身に刻み込まれているからこそ、相手の心に寄り添えるのです。また人間の場合、言葉だけではなく、相手の表情、しぐさ、雰囲気、声のトーンなど、非言語の情報からも感情を読み取ることができます。これまでの自分の経験を元に、相手の今の気持ちを察することができるのです。

そのように考えると、ひと言に「共感」といっても、生成AIと人間とで意味がまったく異なることがよく分かります。自ら経験しているかどうかによって、相手の心の深いところに寄り添えるかどうかが変わってくるとも言えるでしょう。

したがって失敗や挫折を含め、とにかく主体的に行動し、経験を増やしていく姿勢が重要ではないでしょうか。すべての経験は、相手の心に寄り添う上での価値になるはずです。



AI時代こそ、本物が求められる

ひと昔前に、フランスのルーブル美術館がインターネット上で名画を公開した際、「わざわざ現地へ訪れて見る人がいなくなるのではないか？」という議論があったそうです。ただ、その心配は杞憂に終わります。ネットで見れば見るほど本物が見たくなり、むしろ美術館に訪れる人が増えたのだとか。なぜならレオナルド・ダヴィンチの波動や迫力は、現地でなければ感じ取れないからです。

そしてこのことは、商売に置き換えても同じ。ご承知の通り、コロナ以降はインターネット動画でセミナーを受けたり、オンライン面談で事足りるようになりました。それでもやはり「この人にはリアルで会ってみたい」と思うことがあるのは事実です。また、SNS投稿やクチコミを見れば雰囲気は分かるものの、やはり「現地を訪れてみたい」と思うお店や会社もあります。

ではその人に会ってみたい、その場所に行ってみてみたいと思うのはなぜなのか？それは本物に会いたい、本物を感じたいという人間の本能的な欲求だからです。逆に言えば、動画やSNS等の発信の中でも、「この人（or 店や会社）はちょっと違う、本物だ」と思わせる何かがあるということですね。

したがって、AIでいかようにも取り繕える時代になったとはいえ、商売において選ばれるには本物を目指すことが重要です。そのためには何か1つでよいので突き抜けること、キラリと光る何かを磨き続けることが求められるのではないのでしょうか。私も弊社もまだまだですが、本物を目指す気持ちだけは忘れぬよう心がけて参ります。

あなどってはいけない、複利のパワー

「人間の脳は、複利をイメージできない」と言われます。例えば、「厚さ0.1mm（＝コピー用紙くらい）の大きな紙を42回折ると月に到着する」と聞いて、イメージできるでしょうか？多くの人は、「まさか、そこまではならないでしょ」と思われるかもしれません。最初は私もそうでした。

理論的には以下の通りです。

紙を1回折るごとに厚さは2倍になるため、一気に厚みを増していきます。

1回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^1 = 0.2 \text{ mm}$

2回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^2 = 0.4 \text{ mm}$

10回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^{10} = 10 \text{ cm}$ （手のひらの厚さ）

20回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^{20} = \text{約}105 \text{ m}$ （高層ビルくらい）

30回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^{30} = \text{約}107 \text{ km}$ （宇宙の入り口・大気圏あたり）

42回目： $0.1 \text{ mm} \times 2^{42} = \text{約}44\text{万km}$ （！）

地球から月までの距離は約38万km ですので、計算上は42回折った時点ですでに月を通り越し、さらに先まで届くのです。

このようにイメージは難しくとも、ある地点（＝ティッピング・ポイントとも言います）を超えると爆発的に増加するのが複利の効果と言えるでしょう。

そしてこの原理は、人の成長においても同じです。複利をイメージできないが故に、多くの人は、できるだけ短期間で最大の成果を得ようとしてあれこれと手を出すものの、どれほど努力をしても最初の変化は小さいため、ティッピング・ポイントを超える前に諦めてしまうのです。私自身、そんな経験を数知れずしてきました。もしもその努力を数年単位で継続していれば、複利の効果で、自分でも想像できないほど飛躍的な成長を遂げていたかもしれません。「もったいないことしたな～」なんて後悔したところで、あとの祭り。絶大な効果をもたらす複利を生かすも殺すも、自分次第ということですね。

とはいえ、人生において「今日が一番若い日」とも言えます。自己成長において複利の恩恵を受けるべく、今日からできる努力を積み上げていきたいものです。

セミナー・活動報告

5/14 社員様向け研修



出雲市のS社様にて、代表の安野が講師を務めました。

「会社のお金の流れが分かることで、仕事に対する意識も高まりました。」

「素人でも分かる言葉で会社の利益について説明されていて、とてもありがたかったです。」などのご感想をいただきました。

6/19 実践報告in福岡



北海道から沖縄まで、全国から集まった会計人約40名の前で、代表の安野が実践報告をさせていただきました。

12名が発表した後、全員の投票によって上位3名が表彰されたのですが、安野は2位に選ばれました^^ 全国に意識の高い同業のネットワークがあるのは、ありがたい限りです。